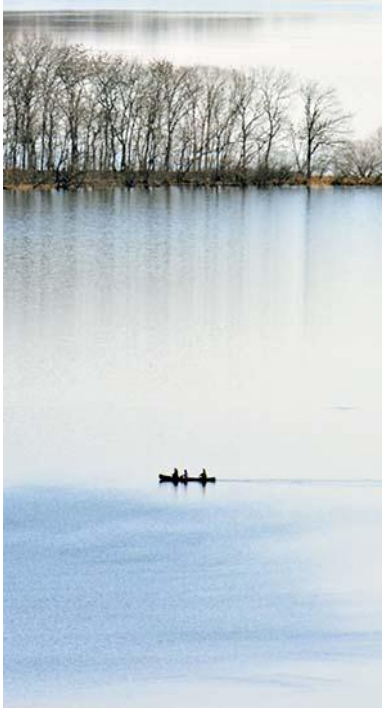
月刊やちまなこ

2015.11.15 発行
No. 216
11 月号

釧路湿原国立公園　塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっと）だより



湿原散歩

２日続いた雨があがり、遠くに見える阿寒の山は雪に覆われてしまった。初冬の気配を感じる湖にはカワアイサやカイツブリの群れがオオハクチョウやヒシクイとともに羽を休め、水鳥の楽園となっている。日没も早くなり、夕映えの光が山肌を染めるころ、雄ジカの鳴き声が湖の奥から聞こえてきた。

コッタロ川と湿原のほとりから

185　11月のコッタロ湿原便り

コッタロ在住．中本　アキ子（文）　中本　民三（写真）

“落葉して部屋の奥でも日向ぼこ”見通しが良く，日差しの温もりの嬉しい時節となりました。意外にも立冬を過ぎてからこの暖かさ，それなのにエゾシマリス達は早々と１０月２７日から冬眠に入り，さびしい限りです。因みに昨年は１１月２５日からの冬眠で，翌年４月５日の目覚めでした。

さて，夏鳥達の殆んどが渡り終え，冬鳥達の渡来たけなわの昨今，庭を賑わしているのは丹頂一家４羽で，２羽の幼鳥がエサの取り合いで騒ぐのを，よく見ると，くわえていたのはアオジの成鳥ではありませんか。渡りを目前に命を奪われるとは・・・・！アオジの冥福を祈るばかりです。

ところで，この２０年間，コッタロでの珍鳥との出合いは数知れず，可能な限りを写真におさめましたが，今回，河畔林や湿原ではおなじみの「ミソサザイ」が，庭のバードレストランに初飛来したのでパチリ！一方，ツル池には初めて見る鴨が一羽のんびりと泳いでいて，この個体は５日間滞在して存分に撮影することが出来ました。恐らく大きな川や湖で見かけるキンクロハジロではないかと思われます。又，庭に出没する狐と狸も数を増し，面白い被写体となってくれる有難さ。すぐそばでは満腹の丹頂親子がまるで死んだ様にはいつくばって動かず，来客の面々をあきれさせているではありませんか。“うたた寝の丹頂小春日和哉”　。“霜月の毛なみうるわしエゾ狸”と云ったところでしょうか。２０１５年も残すところひと月余りとなりました。皆様どうぞお体を大切に!!

湿原の住人たち　その１７６　　イケマ

イケマはガガイモ科のつる性の多年草で、７～８月頃、白い小花が多数咲きます。オクラに似た果実の中には、絹毛のついた種子があります。漢字で生馬と書きますが、アイヌ語のイケマ[i(それ)-kema(の足)]が和名になりました。塘路の方に聞いたイケマの話では、昔、ワカサギ漁で死亡事故があり、事故後、漁に出る時は、もう事故が起きませんようにという意味で、イケマの根を輪切りにして乾燥させ、糸を通したものを首から下げて行ったそうです。お守りや魔除けとして使う時は“ペヌプ”と呼ぶそうです。

さて、その音色は・・・ムックリ作りを体験。

自然ふれあい行事「ムックリを作ろう」を７日に開催しました。ムックリとはアイヌの人たちが使っていた楽器で口琴とも言います。講師の諏訪良光さんの指導で竹材を彫刻刃で削り、特に振動する部分の付け根の部分の厚さが音色に影響するので、慎重に削りました。手に持つ部分と振動させる部分に紐をつけ、口に当て鳴らしてみましたが、音が出ない。いくら紐を引っ張っても同様で、講師曰く「練習を繰り返しながらコツをつかむと音は出る」とのことで、行事終了後も参加者は何回もチャレンジしていたようです。

講師から削り方を教わりました。

親子でチャレンジ、音は出たかな？

なべじゅんのとうろうろうろ日記　　Vol.4「エゾリスの巫術（まじない）」

昨年木の実が豊作だった影響なのか、エゾリスを多く見かける気がします。でも、写真を撮るのは別で、よほど早くカメラを構えないとすぐに見失ってしまいます。それもそのはず、エゾリスはアイヌ語でトゥスニケ（またはトゥスニンケ）＝「巫術（まじない）をして姿を消すもの」と呼ばれているのです。これは、リスが前足をすり合わせる姿勢とさっと逃げる様子が、巫術を行って消えたように見えたからだそうです。何度もリスの撮影に失敗している私にとって、アイヌ語のトゥスニケは、とても納得できる呼び方だと思いました。

渡邊　淳一（標茶町郷土館学芸員）

１１・１２月の行事カレンダー

各行事とも事前の申込が必要です

クリスマストピアリーを作ろう

［日時］１２/５（土）13：00～15：00
［定員・参加料］１０名・５００円
［持ち物］エプロン、手拭きタオル、枝切りばさみ
［集合場所］塘路湖エコミュージアムセンター
＊松ぼっくりや木の実などを使って、トピアリー（植物を人工的・立体的に形づくる造形物）を作り、クリスマスを演出しましょう！

♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪申し込み問い合わせは　塘路湖エコミュージアムセンターまで　℡ 015-487-3003

リースを作ろう　［日時］１１/２９（日）13：00～15：00
初冬の湿原ハイク　［日時］１２/６（日）10：00～12：00

♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪申し込み問い合わせは　温根内ビジターセンターまで　℡ 0154-65-2323

塘路湖・シラルトロ湖・コッタロ湖周辺の自然情報

【 植物 】(10/31)アズキナシの実.ハリギリの実.サワシバの実（11/1)エゾウコギの実.キハダの実.イケマのタネ（11/10)カラフトイバラの実.カンボクの実

【 鳥 】(10/16)タンチョウ親子（10/17)ヒシクイ（10/19)オオバン.オオハクチョウ.ヤマセミ.アカゲラ.コゲラ.ミサゴ（10/30)カイツブリ.カワアイサ.ヒヨドリ（10/31)マガモ.コガモ（11/3)アカエリカイツブリ.ウミウ.ダイサギ.カワセミ（11/6)キジバト.ユリカモメ（11/10)ホオジロガモ　(11/13)キンクロハジロ（11/14)ミコアイサ

【その他】(10/16)エゾタヌキ.エゾシカ.キタキツネ（10/23)エゾリス（10/25)標茶で初雪（10/31)赤トンボの仲間（11/1)モンスズメバチの巣の残骸と屍（11/2)オスジカのラッティングコール（繁殖期の鳴き声）

■フィトンチッドの森歩道は修繕工事のため通行止め（12/10 までの予定）となっております。
■日没前後のあるこっと付近はエゾシカが出没します。下の写真は、道路脇の湿地から道を横断しようと出て来た雄ジカです。因みにエゾシカの後ろは国道３９１です。エゾシカの急な飛び出しが多くなる季節なので、車を運転する方は、スピードダウンで追い越しも控えてください。
◆日出・日入時間　11/15(6:14,16:00).11/30(6:32,15:50).12/14(6:45,15:48)

エゾシカの飛び出しにご注意ください！

釧路湿原国立公園
塘路湖エコミュージアムセンター　あるこっと
〒088-2264　北海道川上郡標茶町塘路原野
TEL:015-487-3003　FAX:015-487-3004
E-mail:emc@hokkai.or.jp
開館時間 10：00～16：00（4 月～10 月は 17：00 まで）
休館日:毎週水曜日 12 月 29 日～1 月 3 日　　入館無料